

「MLGs体験型ワークショップ 琵琶湖流域で営む漁業の視点からの試み」

分科会1－琵琶湖流域で営む漁業と農業から地域を盛り上げる
2022年9月24日(土)

実践者 フィッシャーアーキテクト 代表
志賀町漁業協同組合
駒井健也

- はじめに
- WSに至るまで
- WS「お試し漁師体験—琵琶湖のダイヤモンド・氷魚（ひうお）を捕る！の報告
- 月一おしゃべり会琵琶湖の漁業に関わる若手とのおしゃべり会後の報告
- 今に至るまでの成果と課題
- WS「一日限りのBIWAKOアーティスト・イン・レジデンス」
- 今後に向けて

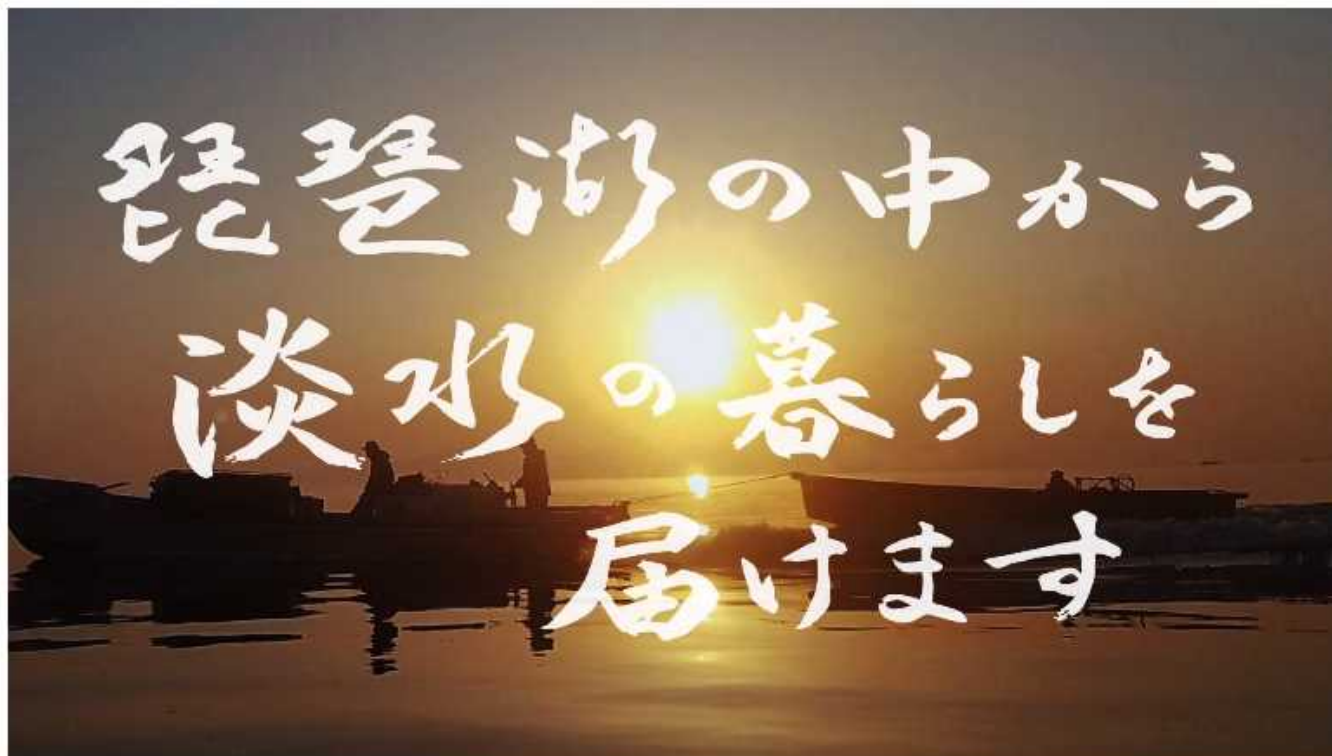
はじめに



フィッシャーアーキテクト 代表
駒井 健也
Tatsuya KOMAI

1992年滋賀県生まれ。滋賀県立大学の環境建築デザイン学科、大学院を卒業後、琵琶湖の漁師に弟子入りし、2020年10月独立。

「琵琶湖の中から淡水の暮らしを届けます」という理念のもと、琵琶湖伝統漁法エリ漁を軸にしたマルシェ出店、EC販売、漁体験、家具づくりワークショップ講師等を行い、琵琶湖暮らしの魅力を発信中。

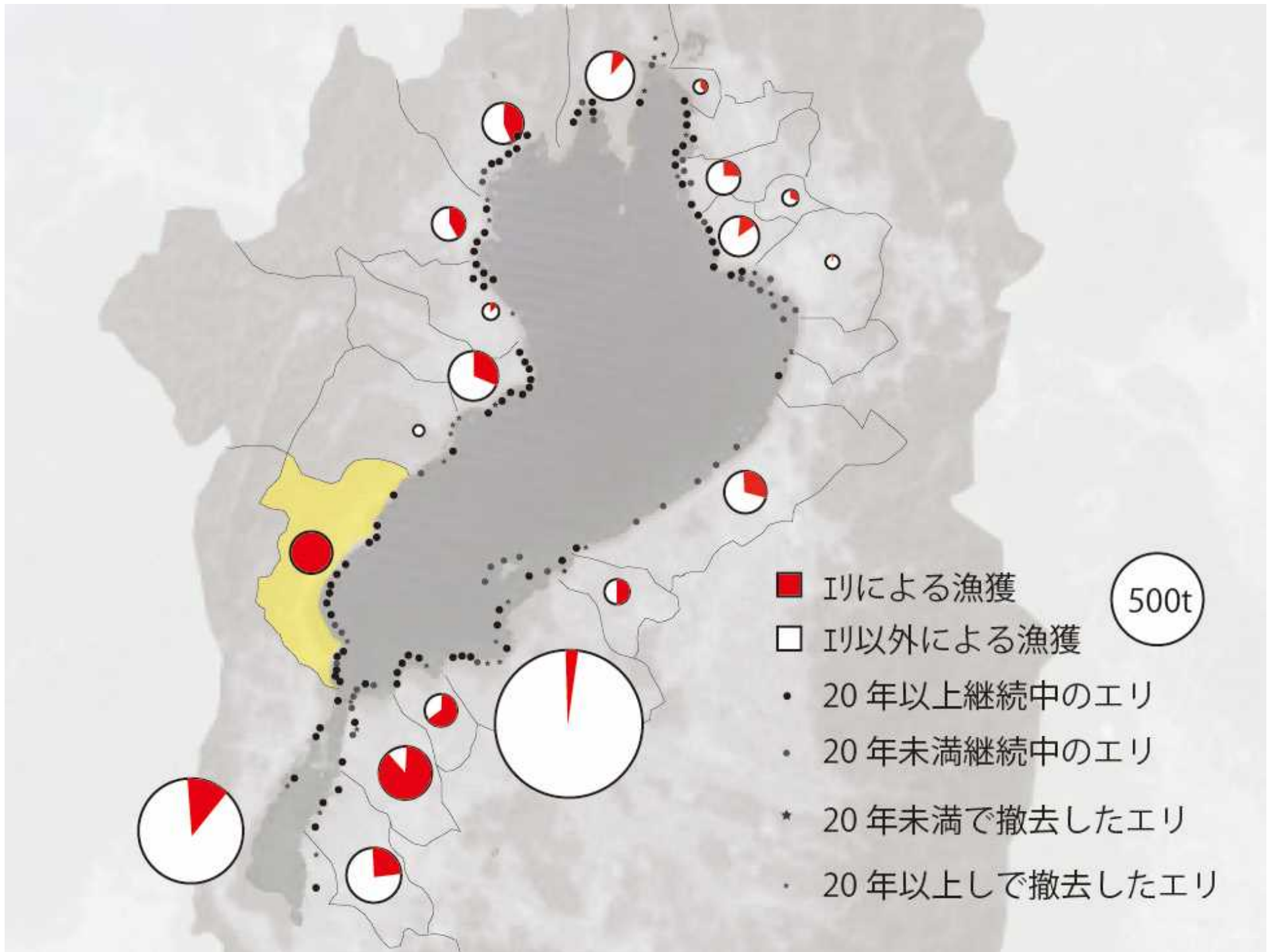




琵琶湖伝統のエリ漁

和邇漁港

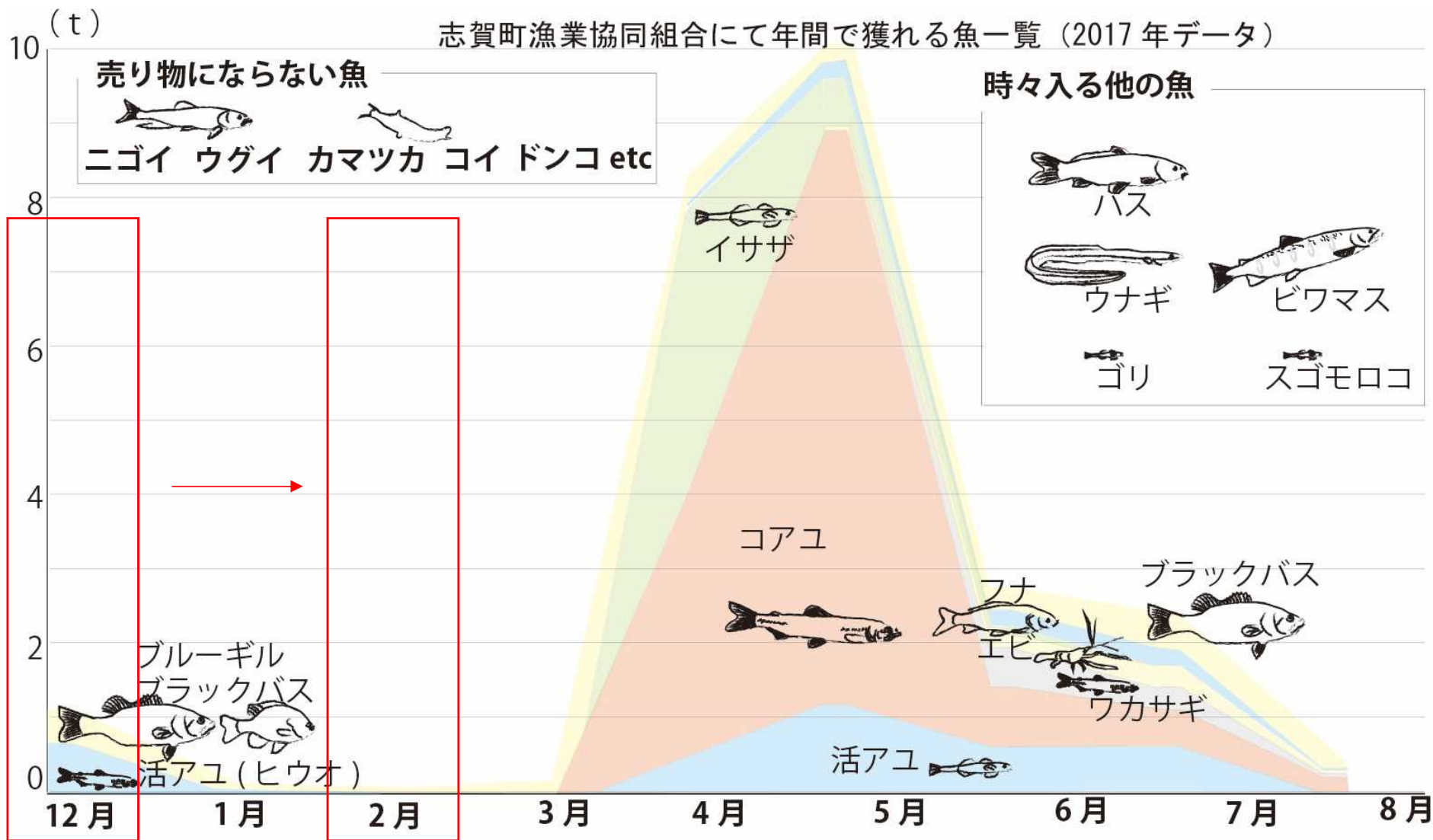




WSIにいたるまで



漁師として独立して、琵琶湖の産業を持続的にしていきたいという思いはあるものの、試しに行ってみた漁業体験。



その漁業体験も個人として探り探り行っている部分もあり、案内人、世話人会の方々のサポートで開催可能であった最大人数の漁師体験を開催することで、事業としての継続、多くの方に琵琶湖の産業を知っていただくきっかけとなればという思いでWSが開催された。

WS「お試し漁師体験—琵琶湖のダイヤモンド・氷魚(ひうお)を捕る！の報告



Mother Lake
Goals

お試し漁師体験

～琵琶湖のダイヤモンド・氷魚(稚鮎)を捕る!～

2.12
SAT



MLGsワークショップ「お試し漁師体験—琵琶湖のダイヤモンド・氷魚(ひうお)を捕る!—」
ダイジェスト(2022年2月12日開催)



https://youtu.be/8Sgp_gNQ1IM

動画映像(約7分)

ぜひご覧ください。(撮影・編集:松元悠さん)



琵琶湖の漁師さんがどのような生活、生業をされているのか少しだけ見えました。(20代男性)



琵琶湖に昇る朝日の美しさ、跳ねる氷魚のみずみずしさ、湖魚のおいしさが印象に残った(30代女性)





琵琶湖と親しむということにピッタリだと思います。しっかり見せるだけではなく、駒井さんと交流するうえで体験する漁体験が良いと思います。(50代男性)



琵琶湖からの景色が素晴らしかった。(40代男性)



もっと滋賀県民に知ってもらうことが大事で他県にもつながっていければ幸いです。(30代男性)



Mother Lake
Goals

月イチおしゃべり会

琵琶湖の漁業を若手と語ろう！

—“お試し漁師体験”の振り返り&おしゃべり会—

2022.3.3 (木) 19:00~20:30

オンライン



月一おしゃべり会琵琶湖の漁業に関わる若手とのおしゃべり会後の報告

<前半>

“お試し漁師体験”ワークショップの体験共有(30分程度)

<後半>

琵琶湖の漁業に関わる若手とのおしゃべり会(60分~90分程度)

MLGs月イチおしゃべり会「琵琶湖の漁業を若手と語ろう！－ “お試し漁師体験”の振り返り&おしゃべり会」(2022年3月3日開催)



大西遼馬さん(堅田漁業協同組合)



Mother Lake
Goals

塚本千翔さん(沖島漁業協同組合)



田村志帆さん(東京海洋大学学生)



私(志賀町漁業協同組合)



それぞれの漁法の違いや、「漁師になりたいと思った理由」「師匠のここがすごい」「イチオシの湖魚メシ」などについて伺いました。同じ「琵琶湖の漁業に関わる若手」でも、お一人お一人が多様で、また地域によって漁法もルールも多様であることがよくわかりました。でも「湖魚が好き」「先輩漁師が好き」「魚がいっぱいとれると嬉しい」のは、みなさん共通！ということもよくわかりました。

BI-WAKE UP

漁体験受け入れ窓口



感動のそばに、いつも。

Y O H A K U

Tour du Lac Biwa

観光振興課Tさん

MLGsのワークショップの参加者としてお越しいただいたことで初対面だったものの、一緒に漁を行ううえで会話の頻度が増え、滋賀県の観光推進側の立場からワークショップ終了後も滋賀県としてのシガリズムのコンテンツにも導入しようのご協力いただき、今までやり取りできなかった行政の方との関係性も深まった。



外未魚・未利用魚の問題
を扱います。



水揚げした湖魚をそれぞれ適した調理法で調理しま
す。



当日とれた魚をメインとした昼食 | 魚と流通の問題
についてのお話も。



おしゃべり会参加者1

MLGsの漁の現場ではなくオンライン参加にて初対面だったものの、そのイベントがきっかけでその後個別に連絡していただき、イベントではなく個別の漁体験にも来ていただき、中谷さんが運営されている宿と連携していく話となり、関わりが深まった。

WS「一日限りのBIWAKOアーティスト・イン・レジデンス」

びわ湖の漁業 × 観光



MLGs ワークショップ

「お試し漁師体験—琵琶湖のダイヤモンド・

水魚（ひうお）を捕る！—」を開催しました

—MLGs WEB(2022)

https://youtu.be/8Sgp_gNQ1IM

びわ湖の漁業 × アート



MLGs ワークショップ

MLGs ワークショップ

「一日限りのBIWAKOアーティスト・イン・レジデンス」

—MLGs WEB (2022)

<https://youtu.be/2i0Bag9y8CU>



日本語
日本語
日本語







6/18(土) 参加者募集!

参加者募集!

体験 発表
7/2(土)、8/20(土) 開催!

琵琶湖は古代湖であり、その歴史から多様な伝統漁法が誕生しました。

琵琶湖漁業は、小型定置網漁業「魷(えり)」をはじめ、個性的な漁法が特徴といえます。漁師が琵琶湖と共に生きるために培ってきた知識や技術が、その地域の景色、日常となって息づいてきました。

志賀町漁協は南北約19kmと琵琶湖一の湖岸線を持ち、沖合には県最多となる13統のエリ定置網を有しています。そこで活動する若手漁師の船に同船し、湖上の漁体験から創作に繋がる経験を一緒に体験しませんか?



漁師体験の様子



昼食の湖魚料理



漁師体験から作品へ

①漁師体験

日時：7月2日(土) 10:00-16:00
 ※予備日7月9日(土)、7月16日(土)
 場所：和邇漁港～琵琶湖上、蓮菜の家
 集合場所：和邇漁港事務所前

【当日の流れ】

1. 和邇漁港集合・解説
2. 駒井さんの案内で漁体験
3. 松元さんの作品鑑賞と制作過程のお話
4. 昼食(蓮菜の家屋外スペース)
5. 各自制作のためのフィールドワーク
6. 絵コンテ発表

②オンライン作品発表会

日時：8月20日(土) 19:00~21:00
 作品画像・動画を提出し簡単に紹介していただきます。

応募期間 | 6月18日(土) 17:00まで

対象 | 美術・芸術活動をしている高校生、大学生および美術教育関係者

参加料 | 大学生以下1500円 大人2000円(食事代、保険料を含みます)

応募方法 | お申し込みの際、下記のデータをお送りください。

- ・ 応募動機(300字まで)
- ・ 【任意】作品等の画像

※映像の場合はyoutubeに限定公開でアップロードしURLをお送りください。

本体サイト(お申込先) | <https://mlgs.shiga.jp/archives/1807>



※経験やスキルだけでなく、本取り組みを活用した表現方法、ご関心等を総合的に勘案して選考します※

連絡先 | fish123art@gmail.com (担当：桐畑、松元、駒井)

NPO 碧いびわ湖 0748-46-4551 (担当 村上)

みなさんの制作をサポートします



駒井健也 | KOMAI Tatsuya
 志賀町漁業協同組合フィッシャー-アーキテクト代表。
 滋賀生まれ。3年の研修を経て独立後、伝統漁法の魷漁という小型定置網の漁法を軸にてコアユを中心とした淡水魚約30種類を生産、販売する。



松元 悠 | MATSUMOTO Haruka
 版画家、美術家。近年の個展に、「活蟹に蓋」(三菱一号館美術館、東京、2019)、グループ展に「群馬青年ビエンナーレ2021」(群馬県立現代美術館)など。現在、京都市立芸術大学美術学部版画専攻 非常勤講師。

主催 | マザーレイクゴールズ推進委員会
 共催 | フィッシャーアーキテクト
 協力 | 志賀町漁業協同組合
 運営 | 特定非営利活動法人 碧いびわ湖



MLGsワークショップ「一日限りのBIWAKOアーティスト・イン・レジデンス」オンライン作品発表会(2022年8月20日開催)

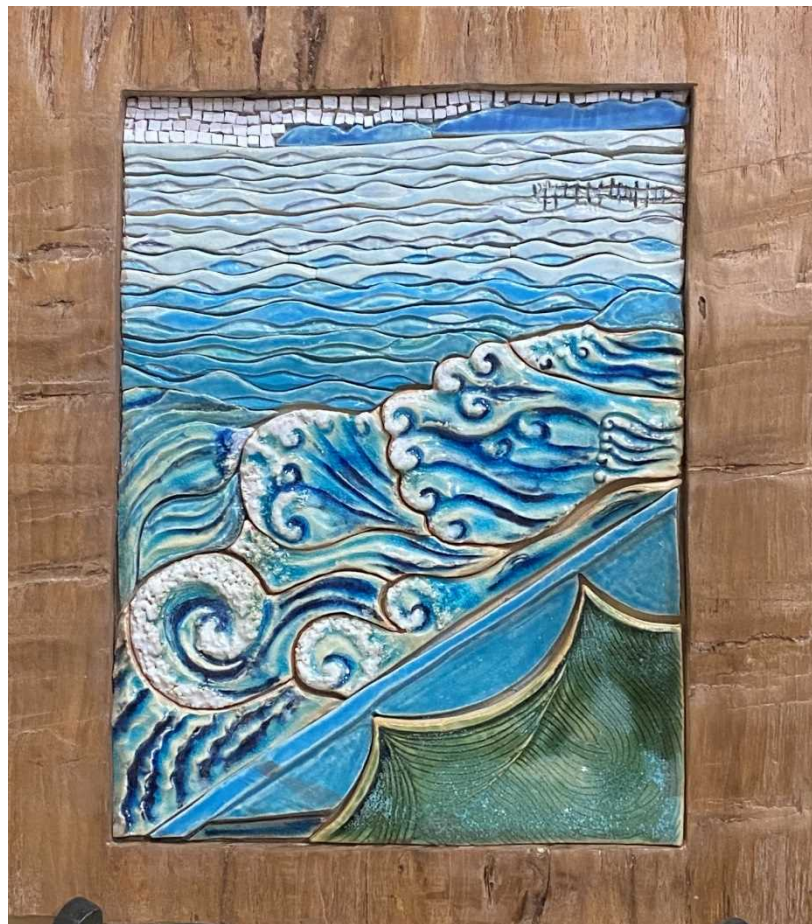


●作品発表者 黒木一輝さん 武雄文子
さん 中森碧さん 玉岡千尋さん 仲西え
りさん 福井しまラッケルさん

YouTubeは
こちらから！



「漁師と芸術家～琵琶湖を読む、琵琶湖を問う～」展覧会



「1日限りのBIWAKOアーティスト・イン・レジデンス」から展覧会へ。レジデンス参加者は、湖上での漁体験を通じた作品制作を行い、琵琶湖漁業とアートの接点をさぐりながらzoomでオンライン作品発表会を開催した。今回の展覧会企画では、WS開催地域の和邇図書館にて展覧会や作家考案のイベントを開催することで、地域の文化交流を行うことを目的としている。

日程

展覧会期間11月2日～11月15日(火曜～土曜:10時～18時 日曜:10時～17時)

イベント開催日11月3日 休館日:11月7,9,12,13,14日

搬入日:10月31日(月)10時～18時

搬出日:11月16日(水)10時～18時

入場料 | 無料 場所 | 和邇図書館2階(〒520-0528 大津市和邇高城25)

今後2030年に向けて







琵琶湖の中から 淡水の暮らしを 届けます

Special thakns

村上さん(WS企画、運営補助)、桐畑孝佑さん、松元悠さん、
MLGs運営メンバーの皆様、

ご覧いただいている貴方とご一緒に琵琶湖をとりまく漁業を通じて新たな交流と発想
を創り滋賀にしかない湖国の風景を築いていきたいです。

びわ湖の暮らしに関係のある生産、加工、販売なんでもご興味ある方、
いつでもご連絡いただければ幸いです。

TEL: 080-3862-1380

MAIL:biwako.fisher.architect@gmail.com

フィッシャーアーキテクト
志賀町漁業協同組合
駒井健也